

第18回 SIP 自動運転 推進委員会 議事概要

1. 日 時 令和4年6月10日（水）10:00～11:45

2. 場 所 中央合同庁舎8号館4階416会議室及びウェブ会議

3. 出席者：（敬称略）

| | |
|-------------|--|
| （議長） 葛巻 清吾 | プログラムディレクター |
| （SPD） 有本 建男 | 政策研究大学院大学 客員教授 兼 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 上席フェロー |
| （SPD） 杉本 洋一 | （株）本田技術研究所 先進技術研究所 知能化領域統括 兼 事業開発本部 ソフトウェア・ファインド・モビリティ開発統括部 エグゼクティブ・チーフエンジニア |
| （SPD） 近藤 晴彦 | 日産自動車株式会社 法規・認証部法規・技術渉外グループ 担当部長 |
| 石井 昌道 | モータージャーナリスト |
| 岩貞 るみこ | 自動車ジャーナリスト |
| 大口 敬 | 東京大学 生産技術研究所 人間・社会系部門 教授 |
| 加藤 晋 | 産業技術総合研究所 首席研究員 |
| 鎌田 実 | 日本自動車研究所 代表理事 研究所長 |
| 河合 英直 | 自動運転基準化研究所 所長 兼 自動車技術総合機構 交通安全環境研究所 自動車安全研究部長 |
| 教野 秀樹 | 日本自動車部品工業会 兼 住友電気工業(株)CAS-EV 開発推進部 業務企画部 部長補佐 |
| 倉知 伸成 | スズキ株式会社 四輪パワートレイン技術本部 EV開発部 グループ長 |
| 小出 啓介 | 電子情報技術産業協会 兼 ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社 車載事業部 オートモーティブ戦略部 国際標準化戦略室室長 |
| 児玉 俊介 | 電波産業会 専務理事 |
| 波多野 邦道 | 日本自動車工業会 安全技術・政策委員会 自動運転部会長 兼 本田技研工業株式会社 事業開発本部 ソフトウェア・ファインド・モビリティ開発統括部 エグゼクティブ・チーフエンジニア |
| 山本 昭雄 | I T S J a p a n 専務理事 |
| 横山 利夫 | 産業技術総合研究所 L4プロジェクトコーディネーター |
| 鈴木 崇弘 | デジタル庁 国民向けサービスグループ 企画官 |
| 牧野 充浩 | 警察庁 長官官房 参事官 |
| 井出 真司 | 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室長 |

福永 茂和 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室長
和賀 正光 国土交通省 道路局 道路交通管理課高度道路交通システム(ITS)推進室 室長
多田 善隆 国土交通省 自動車局 自動運転戦略室長

オブザーバー

西山 裕子 文部科学省 研究振興局 基礎・基盤研究課 課長補佐(渡邊課長代理)
渡辺 剛己 東京都 生活文化スポーツ局 都民安全推進部 課長代理(小室部長代理)
藤巻 篤史 日本自動車工業会 安全・環境領域 領域長

管理法人

古川 善規 新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI部 部長

事務局

覚道 崇文 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 審議官
福島 千枝 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP自動運転リーダー
福永 茂和 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP自動運転サブリーダー
平岡 雷太 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 SIP自動運転担当 上席政策調査員

4. 議題

【公開部】

1. 研究開発計画の改定等について
2. 国際連携の強化
3. 自動運転に関する動向報告
4. 2022年度以降の研究開発の推進と社会実装
 - (1) 新たなサイバー攻撃手法と対策技術
 - (2) 仮想空間での自動走行評価環境整備手法の開発

【非公開部】

- (3) 仮想空間(DIVP)の事業化について
 - (4) SIP2期終了後に向けた検討状況
 - (5) 海外研究機関との共同研究の推進に向けた連携体制の構築
5. SIP自動運転の今後の予定

全体スケジュール・成果発信

5. 配布資料

| | | |
|---------|----------------------------------|--------|
| 推委 18-1 | 研究開発計画の改定等について | 【公開資料】 |
| 推委 18-2 | SIP-adus Workshop 2022 の検討状況について | 【公開資料】 |
| 推委 18-3 | 道路交通法改正について | 【公開資料】 |

| | | |
|-----------|----------------------------|---------|
| 推委 18-4-1 | 新たなサイバー攻撃手法と対策技術 | 【公開資料】 |
| 推委 18-4-2 | 仮想空間での自動走行評価環境整備手法の開発 | 【公開資料】 |
| 推委 18-4-3 | 仮想空間（DIVP）の事業化について | 【非公開資料】 |
| 推委 18-4-4 | SIP2 期終了後に向けた検討状況 | 【非公開資料】 |
| 推委 18-4-5 | 海外研究機関との共同研究の推進に向けた連携体制の構築 | 【非公開資料】 |
| 推委 18-5 | 全体スケジュール | 【非公開資料】 |
| 参考資料 1 | SIP 自動運転 2022 年度施策 施策一覧 | 【公開資料】 |
| 参考資料 2 | 推進委員会等名簿 | 【公開資料】 |
| 参考資料 3 | 開催スケジュール | 【非公開資料】 |
| 別添 | 令和 4 年度 SIP 自動運転研究開発計画 | 【非公開資料】 |

6. 議事概要

【公開部】

1. 研究開発計画の改定等について

- 推委 18-1 に基づき、内閣府から、研究開発計画の骨子と今年度の到達目標が示され、重点テーマを中心に、実用化を加速する取組に対して研究開発予算を重点配分すること等の説明がなされた。

2. 国際連携の強化

- 推委 18-2 に基づき、SIP-adus Workshop2022 の開催方針が示され、開催日程とセッションテーマ、開催会場の説明がなされた。

3. 自動運転に関する動向報告

- 推委 18-3 に基づき、警察庁から、特定自動運行に係る許可制度の創設について許可基準や遵守事項、行政処分等の説明がなされた。

4. 2022 年度以降の研究開発の推進と社会実装

(1) 新たなサイバー攻撃手法と対策技術

- 推委 18-4-1 に基づき、新たなサイバー攻撃手法と対策技術について全体スケジュールと 2021 年度の活動と成果の概要が示され、今年度は社会実装に向けた取組として成果移管の活動を行うことの説明がなされた。

(2) 仮想空間での自動走行評価環境整備手法の開発

- 推委 18-4-2 に基づき、様々な交通環境下で再現性の高い安全性評価を行うため、リアル環境における実験評価と代替え可能な実現象と一致性の高いシミュレーションモデルを開発し、検証したことが示され、研究成果物は自動運転の安全性評価と国際標準化に貢献していくと説明がなされた。

【非公開部】

(3) 仮想空間（DIVP）の事業化について

- 推委 18-4-3 に基づき、DIVP の事業化に向けた活動が示され、2018 年度から開始した基礎研究の研究成果等に基づいて DIVP の事業化に取り組み、自動運転の社会実装に貢献して行く事が示された。

(4) SIP2 期終了後に向けた検討状況

- 推委 18-4-4 に基づき、内閣府から、SIP 自動運転の活動資産を SIP 第 2 期終了後も活かすべく、RoAD to the L4 への引継ぎを図ることの説明がなされ、SIP 資産の取扱については知財委員会にて移管、譲渡、継承、破棄等を審議して決定していくこと説明がなされた。

(5) 海外研究機関との共同研究の推進に向けた連携体制の構築

- 推委 18-4-5 に基づき、SIP 自動運転における国際連携・学学連携事業設定の経緯と 2018 年度に設立されたモビリティ・イノベーション連絡会議の概要が示され、SIP 第 2 期終了後は、学学連携体制の継続等を目標とした組織を発足させ、SIP 自動運転事業を継承・発展させることの提案がなされた。

5. SIP 自動運転の今後の予定

- 推委 18-5 に基づき、内閣府から、課題評価日程(案)と社会的受容性の醸成に関するイベント計画が示され、最終成果報告書の発行についてスケジュールの変更点と執筆の追加内容の説明がなされた。